

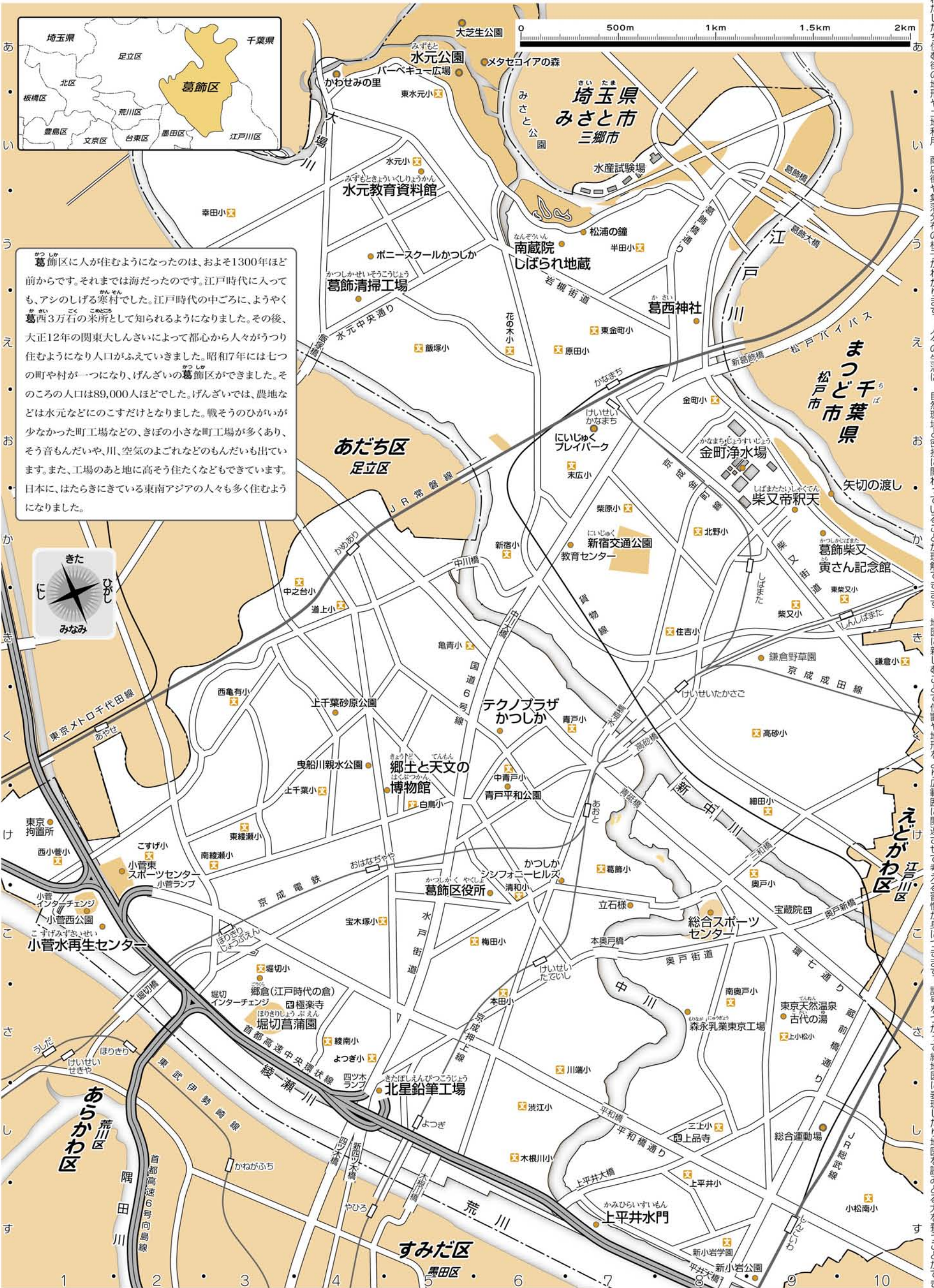
葛飾区内見学地図

お申込:tel 03-3233-1212 fax 3233-1213

組 なまえ



移動教室



葛飾区に人が住むようになったのは、およそ1300年ほど前からです。それまでは海だったのです。江戸時代に入っても、アシのしげる寒村でした。江戸時代の中ごろに、ようやく葛西3万石の米所として知られるようになりました。その後、大正12年の関東大しんさいによって都心から人々がうつり住むようになり人口がふえていきました。昭和7年には七つの町や村が一つになり、げんざいの葛飾区ができました。そのころの人口は89,000人ほどでした。げんざいでは、農地などは水元などにのこすだけとなりました。戦そうのひかいが少なかった町工場などの、きぼの小さな町工場が多くあり、そう音もんだいや、川、空気のごれなどのもんだいも出ています。また、工場のあと地に高そう住たくなどもできています。日本に、はたらきにきている東南アジアの人々も多く住むようになりました。

わたしたち住む街の地形や土地利用、商店街や集落分布の様子がわかります。人々の生活は、自然環境と密接に関わっていることが理解できます。地図に親しむことで位置や地形をより広範囲に関連させて考える習慣が身につきます。記号をつかって地図に表現したり地図を読みとる力を養うことができます。